

学 科・コース	電 子 機 械	学 年	第 2 学 年	単 位 数	2 単 位
---------	---------	-----	---------	-------	-------

1 学習内容と学習到達目標

<p>1. 人の一生と家族・福祉・消費生活、衣食住、家庭生活と技術革新などに関する知識と技術を体験的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</p> <p>2. 学習した知識や技術を実生活に生かして各自の生活課題を解決し、よりよい生活を工夫する能力として定着させる。</p> <p>3. 男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と、実践的態度を育成する。</p>

2 使用するおもな教材等

(1) 使用教科書	実教出版 「生活デザイン」
(2) 授業で配布するもの	ワークシート 学習資料プリント 実習教材

3 年間の学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項、他教科等との関連)	考 査 範 囲 等
1 学 期	はじめに	4	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科を学ぶ意義を理解する ・学習の知識や技術を生かし、各自の生活及び学校や地域生活を改善向上させる能力や実践力を身につける ・食事調査を通して自分の食生活の問題点を考える。 ・食事が健康に及ぼす影響を理解する ・五大栄養素とその主な機能を理解し、調理・食品衛生等に関する基礎的な知識と技術を習得し家族の食生活を健康で安全に営めるようにする ・食品表示や添加物の知識を生かした食品の選択ができる ・自分や家族の食事摂取基準、1日の食品群別摂取量の適正量を知り、日常生活に取り入れることができる。 ・調理法、調味の基本を学び、料理の楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動への参加 ・3日間の食事記録 ・消化器系図 ・食事バランスガイド ・栄養バランスシート ・食生活指針 	1 学 期 末 考 査
	二編 生活をつくる 1章 食生活をつくる 1 私たちの食生活 2 栄養と食品のかかわり ①食品の栄養素とからだの成分 ②各栄養素とその食品 3 食品の選び方と安全 ①食品の表示と保存 ②食品の衛生と安全 4 食事の計画と調理 ①食事摂取基準と摂取量めやす ②家族の食事計画 ③おいしさと調理 ④献立作成から後かたづけまで ＊調理実習	5 6 7			
《 課題・提出物等 》 ワークシート 課題プリント 調理実習考察プリントの提出					
《 1学期の学習状況の評価方法 》 <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な知識を理解しているかを、学習態度や考査でみる。 ・ 基礎的・基本的な技術がどの程度定着しているか、実習中の状況や提出物、自己評価などから判定する。 ・ 授業や実験・実習の意欲や態度から評価する 					
2 学 期	＊ホームプロジェクト計画 ＊調理実習 5 これからの食生活を考える ①日本の食料はどこから ②食の安全と環境への配慮 ＊調理実習	9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・和洋中の基本的な献立での実習を通じて、自分の日常生活に取り入れることが出来るようにする。 ・食品の自給率や食に関する環境について考察し、輸入食品を含めた安心安全の食、地産地消の考え方なども理解する。 ・調理実習を通して調理の基本的な知識や技術を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・和洋中のマナーと配膳の仕方を実習時指導と併せてビデオ視聴 ・栄養計算 ・着色料抽出実験 	2 学 期 末 考 査

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項、他教科等との関連)	考査 範囲等
2 学 期	2章 食生活のデザインと実践 1 人は何を食べてきたか 2 日本の食文化の形成 * 献立作成での実習	11	・生活者として内外の食料事情を知り、今後の食生活のあり方を考える ・地域の食文化について調査学習し、理解を深める。 ・テーマに沿った献立作成ができる	・郷土食の調査・実習	2 学 期 末 考 査
	一人と係って生きる 1章 自分らしい生き方と家族 1 自分を見つめる 2 自立した生き方、ともに生きる人生 3 共に生きる家族 4 家族に関する法律 5 私たちの生活を支える労働と生活時間	11 12	・人の一生を生涯発達の視点でとらえ家族・家庭の意義を理解し、これからの生活と人生を考える ・家族の機能変化は、社会の変化に関係していることを理解し、家事労働を含め家族関係のあり方を考える ・家族に関する法律を理解し、法律に基づいた家庭生活が営めるようにする	・「保健」との関連 ・家族・家庭に関する諸問題を新聞記事等の活用 ・近年の民法改正	
《 課題・提出物等 》 ホームプロジェクト、ワークシート 課題プリント 調理実習プリントの提出					
《 2学期の学習状況の評価方法 》 ・ 必要な知識を理解しているかを、学習態度や考査でみる。 ・ 基礎的・基本的な技術がどの程度定着しているか、実習中の状況や提出物、自己評価などから判定する。 ・ 授業や実験・実習の意欲や態度から評価する					
3 学 期	二編 生 活 を つ く る 5章 住生活をつくる 1 人と住まいのかかわり ①人と住まい ライフスタイルと住まい 3 健康的な住まい環境 ①健康に配慮した快適な屋内環境 ②住まいを管理する 境 4 安全な住まい環境 2 住まいを計画する ①住空間の成り立ちと平面計画 ②平面図を読み取る ③平面計画をしてみよう ④インテリア計画 5 これからの住まいを考える ①住環境と地域社会 ②快適な住まいを次世代に	1	・住まいは生活の拠点であることを踏まえ、住人が住まいを形作ることを知る。	・地震、風水害などの災害等への対処行動 ・バリアフリー調査 ・新聞広告の利用 ・住宅ローンと家庭経済	学 年 末 考 査
		2	・住生活と健康、安全に関する問題点を考え、日常の生活の在り方へ視野を広げる		
		3	・住空間の機能やイテージも考慮して間取りの見方を平面図から読み取る力をつける ・平面計画をする中でインテリアについて理解を深める ・環境にやさしい住まいづくりはこれからの課題であることを知り、共生可能・持続可能な住まいのあり方を考える		
《 課題・提出物等 》 ワークシート 課題プリント 調理実習プリントの提出					
《 3学期の学習状況の評価方法 》 必要な知識を理解しているかを、学習態度や考査でみる。 基礎的・基本的な技術がどの程度定着しているか、実習中の状況や提出物、自己評価などから判定する。 授業や実験・実習の意欲や態度から評価する					
《 年間の学習状況の評価方法 》 ・ 生徒のよい点や進歩の状況を、自己評価や生徒の相互評価、感想などから判断し、1年間の成長度合いを評価する ・ 家庭や地域の生活を充実向上させるために、問題解決学習をいかに実施し、生活を工夫し判断する能力が高められたかを、発表や課題プリント・実習記録から判断する ・ 家庭や地域の生活について、意欲関心を持ち、いかに改善しようとしているかを、ホームページ等の内容などから判断する ・ 知識や技術を自分のものとして、獲得したかを、実技や考査等で確認する					